

# 「横浜市災害廃棄物処理計画（素案）」に対する市民意見募集の実施結果について

横浜市では、「横浜市災害廃棄物処理計画」の策定にあたり、平成 30 年 5 月に素案を策定し、市民意見募集を実施しました。市民の皆さまから、貴重なご意見・ご提案をいただきました。ご協力ありがとうございます。

このたび、市民意見募集の実施結果と本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

## 1 市民意見募集の概要

### （１）意見募集の期間

平成 30 年 6 月 25 日（月）から平成 30 年 7 月 31 日（火）まで

### （２）意見の提出方法

郵送、電子メール、インターネット等

### （３）市民意見募集の周知方法

- 広報よこはまへの掲載（平成 30 年 7 月号）
- 市ホームページへの掲載
- 市役所市民情報センター、区役所区政推進課広報相談係等にて素案リーフレットを配架
- 資源循環局総務課にて素案リーフレットを配架

## 2 市民意見募集の実施結果

### （１）御意見の提出者数及び項目別の意見数

御意見の提出者	68 名	
提出方法別 内訳	郵送	44 名
	電子メール	3 名
	インターネット	4 名
	F A X	1 名
	直接御意見	16 名

68 名から 125 件の御意見をいただきました。その内訳は以下のとおりです。

意見数	125 件	
項目別内訳	計画全般	9 件
	第 1 章 総則	12 件
	第 2 章 災害廃棄物処理 全体像・発生量等	4 件
	第 2 章 災害廃棄物処理 各廃棄物への対応	25 件
	第 2 章 災害廃棄物処理 仮置場	25 件
	第 2 章 災害廃棄物処理 その他	11 件
	第 3 章 平時からの取り組み	39 件

## (2) 御意見の反映状況

分類	対応状況	意見数
修正	素案を変更する際に、ご意見の趣旨を参考としたもの	2件
賛同	素案と同趣旨及び賛同いただいたもの	38件
参考	今後の事業・取組の参考とさせていただくもの	79件
その他	その他	6件
合計		125件

## 3 頂いた御意見の内容と本市の考え方

別紙のとおり。

## 頂いた御意見の内容と本市の考え方

※ 頂いた御意見については、基本的に原文のまま掲載しています。  
 ※ ページ番号は、素案のものです。

## 【計画全般】

御意見	本市の考え方
<p>○ P3 対象とする災害  「大規模災害」という言葉の定義を、確認する必要があるのではないか。国の「大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針」では、非常災害の中でも災対法に基づく特例の適用を想定した災害を「大規模災害」と位置づけている。そのような大規模災害であれば、横浜市だけで被害が完結するものではなく、周辺自治体にも深刻な被害が生じているはずである。  したがって、周辺自治体の被害想定も明らかにしたうえで、発災時に横浜市が置かれる立場を市民と共有し、平時からの備えを進めていくことが大切ではないか。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>「災害廃棄物処理計画」という想像を絶する大計画を一部局だけで遂行可能と本当にお考えでしたら、まさに夢プランです。縦割り行政の打破から始めなければ、画餅に終わります。市行政総力をあげて、取り組むことができるか否かにかかっています。</p>	<p>御意見に関しては、P9「組織体制」などに盛り込まれています。</p>
<p>実際に発災した時の状況は、机上シミュレーションとは大きく異なることになるのは必然です。実態と計画との乖離への柔軟な対応が可能である前提としてください。</p>	<p>御意見に関しては、P38「災害廃棄物処理実行計画の策定」に盛り込まれています。</p>
<p>横浜市の素案は素晴らしいと思います。西日本の災害にも十分適応するものと信じます。</p>	<p>今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>素案はよくできていましたので、これに即して対応していただけますよう、よろしくお願いします。</p>	<p>今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>計画の策定にあたり、危機管理部門と連携を図りながら進めて欲しい。</p>	<p>御意見に関しては、P9～組織体制に盛り込んでいます。</p>
<p>このたびの広島、岡山、中国地方の豪雨災害廃棄物処理が天候や災害状況により、なかなか計画通りに進まない現状が判りました。計画処理プラス人手の必要性が重要だということです。過去の災害をみるにつけ、市民が普段の生活にもどれるには、さまざまな問題を抱え、相当な時間がかかる事を考慮して計画していただきたいと思います。</p>	<p>今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>○全体的な意見  計画は国レベルで考えられている施策は、ほぼ入っていると考えます。  大地震に対する被害想定から廃棄物の数量は、熊本地震との比較でわかるのでしょうか。  最大の地震被害が出るとして、効果的、効率的な処理をする計画である事はわかります。このような大規模の事前計画は他都市ではみかけません。日本初ではないでしょうか？</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

衛生面が完全であれば、素案の定義に対しての考え方、具体的な取組は大変良いと思います。	今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。
--	------------------------------

## 【第1章 総則】

御意見	本市の考え方
<p>○ P4 対象とする災害廃棄物の種類について</p> <p>災害廃棄物対策指針においては、「生活ごみ」「避難所ごみ」「し尿」「災害廃棄物」に分けて、災害時に発生する廃棄物としている。その中で、災害廃棄物は住民が自宅内にある被災したものを片付ける際に排出される片付けごみと、損壊家屋の撤去（必要に応じて解体）等に伴い排出される廃棄物と定義されている。</p> <p>また、災害廃棄物の処理・処分は災害廃棄物処理事業費補助金の対象であるが、生活ごみ、避難所ごみ及びし尿は災害廃棄物処理事業費補助金の対象外とされる。</p> <p>補助金を必ず活用することになることを踏まえ、事務効率及び作業効率軽減の観点からも、災害廃棄物の定義を合わせておくべきではないか。横浜市独自の定義づけがあるのであれば、説明をいれるべきと考える。</p> <p>また、路上廃棄物も災害廃棄物に含めているが、基本的に道路管理者が復旧事業の中で処理をするものであり、安易に廃棄物と限定してしまうと、補助金の対象外となり、市負担を増大させる懸念がある。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
<p>○ P8 事業者自身のBCP（事業継続計画）</p> <p>事業者のBCPの策定を求めているが、一般廃棄物処理事業のBCPを具体的に提示することが必要ではないか。また、中小企業が多い実情を踏まえ、横浜市が率先してBCPのモデルを提示すべきである。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
<p>○ P63 周辺自治体の協力</p> <p>大規模災害の場合において周辺自治体も被災する状況を考えると、広域処理の調整が横浜市単独でできるものではなく、神奈川県・地域ブロック・D-Waste Netとの連携や情報共有を平時から密にしておく必要がある。計画全体のトーンとして、横浜市だけで対応しようという雰囲気が出ているが、被災状況を冷静に分析し、3年で処理するための具体的な処理先の確保を戦略的に考えるべきではないか。</p> <p>また、広域処理を考えるのであれば、廃棄物の遠方への輸送を伴うものであり、陸路・海路の確保も必要であり、特に、港湾関係者との連携は欠かせないものと考ええる。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
<p>1の「対象とする災害」の発生量は元禄型関東地震（M8.2）で推計しています。と表記した方がよい。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
<p>災害がれきの収集や仮置場の運営で民間事業者と連携、4エリア各8か所合計32件の締結とボランティア協力支援等対応計る。あわせて、協定締結の明文化。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
<p>3)本市（資源循環局）の協定事業者の他 大学連携を進める必要があります。この表では、横浜市立大学、横浜国立大学 横浜商科大学が上がっていますが、さらに拡充が必要です。</p>	御意見に関しては、参考にさせていただきます。

<p>○近隣都市の廃棄物を受け入れるのか？ 大災害時は9県都市連携で、相互に廃棄物や物資を運営すると考えるのですが、あまり触れられていません。 一般廃棄物は各市、東京都で処理すると推測しますが、一時的にせよ他都市の災害廃棄物も受け入れる事ができる旨を説明してほしい。</p>	<p>御意見については、P18～「協力支援体制」に盛り込んでいます。</p>
<p>(提案) 横浜市内方面本部区割りイメージについて 港北区の一部を都筑工場へ 神奈川区の一部を都筑工場へ・旭工場へ 南区の一部を磯子工場へ 西区の一部を保土ヶ谷工場へ 上記の工場でまかなえない場合は他の県又は市町村にお願いして実施</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>分別して出すことが大切と思う。</p>	<p>御意見に関しては、P6「基本方針2」に盛り込んでいます。</p>
<p>民間の処理施設を使用する計画はあるのか。</p>	<p>御意見に関しては、P18～「協力支援体制」等に盛り込んでいます。</p>
<p>各論 15ページ意見質問 工場が使えなくなる緊急事態に対応する計画があるのは評価します。沿岸部の被災により、鶴見工場、金沢工場が、利用できない場合の区割りがあるのですが、これは津波の影響でしょうか？ 津波対策に予算を使う方が、全体でコスト対効果が高いのではないのでしょうか。</p>	<p>鶴見工場、金沢工場が利用できない場合として、津波や液状化等を想定しています。 御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>発災直後はし尿処理や腐敗性廃棄物が後の健康被害防止に重要です。このため、横浜市だけで処理せず発災前から他の自治体と協定を結び万一の場合の処理計画を事前に策定すべきと考えます。</p>	<p>御意見に関しては、P18「協力支援体制」などに盛り込まれています。</p>

## 【第2章 災害廃棄物処理 全体像・発生量・スケジュール】

御意見	本市の考え方
<p>災害がれきの総量が少なすぎると思います。家屋や建物等の時間（建築後）が仙台と異なり、多く算出した方が良くと思う。</p>	<p>御意見に関しては、建築後の時間についても考慮した数字と考えています。また、倒壊建物から発生する廃棄物量の原単位は、近年の地震の例と比較して、同程度であることを確認しています。</p>

<p>&lt;想定外の災害から発生する廃棄物量&gt;          横浜市磯子区在住市民です。災害による発生想定ごみ資源量のうち、磯子地区沿岸の工業地帯への地震～津波～、火災（特に石油精製、LNG ガスタンク等が要因）爆風被害等による処理、処分量は災害がれき処理数に計算されているのでしょうか？          ※LNG 液化がガス化するとき膨大に体積膨張をするときいています。</p>	<p>ご質問に関して、火災による被害について、横浜市地震被害想定調査によると、危険物施設についても出火要因として含まれており、本計画の数値にも盛り込まれています。</p>
<p>○災害廃棄物の想定量と改善          質問          計画概要版（リーフレット）の3ページでは、1319万トン（元禄関東地震）とあります。これは2012年に公開した被害想定から計算したと考えます。          被害面積半減、死者半減の計画もH34年が目標です。          現在2018年ですから、住居やビルの耐震化や、不燃化、建て替えが進み、道路も消防力も公園も改善したと考えています。実際にこの5（6）年で死者や、被害棟総定数はどのくらい減少したのでしょうか？          仮にですが、計画が「10年で半減」ですから、単純に直線的に毎年5%減るなら25%減るはずですが。          災害廃棄物は、被害棟数に比例するとしたら、1319万トンは過大ではないでしょうか？（各種原因で25%より減少量は少ないかもしれませんが。）          この数字だけでは、「災害対策が何も進んでいない」と読み誤るのではないかとこの危惧です。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>災害廃棄物については外国（発展途上国）に対し、再利用できる方法があるのではないか</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

## 【第2章 災害廃棄物処理 各災害廃棄物への対応】

御意見	本市の考え方
<p>災害時のごみ出しが想像できずに不安である。平素の集積所は一般家庭の前にカラス籠が定着している。これは定期収集・回収を前提とするものであり、災害時の設備と場所ではない。特に簡易トイレのし尿処理は不安。行政の手腕に期待する。</p>	<p>今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>し尿は迅速な対応、早期の対応など抽象的な表現では計画ではない。</p>	<p>防災計画に、発災後2日目から地域防災拠点優先的に収集開始することとなっています。御意見に関しては、地域防災計画を踏まえ、本計画の中に反映させます。</p>
<p>災害時におけるは廃棄物処理計画1～4は大変分かりやすく、又、仮置場や処分場、福祉的支援の視点の大計画も判りました。</p>	<p>今後、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>3 「災害廃棄物の処理」について住民が区分することの重要性が分かりづらい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

<p>西日本豪雨の被災地で壊れた家具・電気製品などの「災害ごみ」回収が進んでいないとの報道があります。素案に盛り込まれているとおり片付けごみと生活ごみの区別をはっきり徹底させなければならないと思います。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>災害時に発生する生活ごみは通常の回収方法（普段の集積場所からの）によるとありました。 生活ごみには使用済みトイレパックもあるようですが、断水や下水管破断時には大量の使用済みトイレパックの発生が予想されます。 平常時のごみ回収が再開されるまでに時間がかかることも考えられ、各世帯、或いは避難場所には一時的に大量の使用済みトイレパックを保管することになります。 これらを別途集積するためのごみ保管場所の設置、或いは各防災拠点で設置するための補助を検討されていますか。もし無いようなら、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>し尿、生活ごみ・避難所ごみ、片付けごみ、災害がれきの中で、生活ごみ・避難所ごみの問題は衛生面で多くの課題がある。夏冬では対応が違う。大きな穴を掘って、生ごみは埋めるなどして、近くで処理可能な方法を考えてほしい。高齢者は遠くへは捨てに行けない。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>片付けごみについて 排出場所は普段の集積場所より遠くなってもよいが、その場所をいち早く知らせしてほしい。その際、分別は大きな字でわかりやすくする。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>生活ごみとの混在は大丈夫か？</p>	<p>御意見に関しては、「市民への広報及び情報発信」の参考にさせていただきます。</p>
<p>自然災害が多発する現代、万一発生した時の廃棄物処理方法をルール化しておくことは大切であり、賛成です。</p>	<p>今後、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>災害時、マンションで生活で出来る状態であれば、マンションから発生するし尿も優先的に収集してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、災害時のトイレ対策について参考にさせていただきます。</p>
<p>災害ごみについて確かに分別する事はとても大事な事だと思いますが、西日本の災害のニュース等を見聞きしていると片づけるのが精一杯で分別までしている余裕がないとの事です。 災害がれきは出来たとしても、生活ごみ、片付けごみを分別する事に不安があります。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>生活ごみ、片付けごみの分別が出来たとしても集積所までどの様にして持っていくのか不安があります。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>○「生活ごみ・避難所ごみ」と「片付けごみ」の分別をハッキリできる様なシステム管理方法を検討してください。 例えば人員を配置するとか。 マスメディアで分別されていなくて困っている状況が報道されているの</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

分別が基本と言われても、災害時に難しいと思う。	御意見に関しては、「市民への広報及び情報発信」の参考にさせていただきます。
災害がれきの処理方法が具体的でない。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
ごみ処理は誰かが最初に捨てることで、捨て場と認識されてしまうので、予め場所の策定が必要。 ごみ集積所と同じ考えで、自分の家に置きたくない。もめるポイントと考える。	御意見に関しては、「参考にさせていただきます」。
狭い道路（車が1台しか通れない所）の廃棄物の置き方、搬出方法等はどう考えているのか。 計画（第3章 第3節、第4節）ではかっこよく書いているが、実際はどうか？現在西日本の実態から考えると簡単にはいかないと思う。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
自治会・町内会が独自に所有しているくみ取り式仮設トイレのし尿についても対応してほしい。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
2)地域防災拠点での災害時ごみの対応の明確化 し尿処理：拠点ごとに仮設トイレの状況は違いますが、対策は必要です 避難所ごみ：特に使用済みトイレパックの保管対策。分別の徹底（収集時期の違いを知り、保管場所の確保が必要）	御意見に関しては、P40「各災害廃棄物への対応」に盛り込んでいます。
水とトレイの確保が必要だと思います。 もちろん被災した家屋から出る壊れた家具・家電、がれき等の処理も早期生活再建のために必要不可欠だと思いますが、被災した多くの方々に辛かったこと大変だったことを聞いたところ、水とトイレと答えたそうです。災害廃棄物処理計画の素案はいろいろと書いてありますが、実際はなかなか復旧せず、皆様も努力していたと思いますが駄目と言うことでした。今ではだいぶ時も過ぎてますので、当てはまらないと思いますが、私たちも自助共助につとめ努力していきたいと思っています。	御意見に関しては、P40～「し尿」に盛り込んでいます
家庭において、災害時のトイレ（ビニール袋と凝固剤のセット）が普及しており、実際の災害時の処分方法を徹底する必要がある。	御意見に関しては、P40「し尿」などに盛り込まれています。
生活ごみと片付けごみの混合は西日本豪雨でもあるようで、大丈夫か？	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
○ P48 公費負担 災害廃棄物処理事業費補助金において、解体は全壊のみが対象となる。全ての家屋解体を横浜市主体と受け取れるような記載は控えるべきである。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
避難所から出る生活ごみについても、許可業者のコンテナを設置して回収する等、回収方法についても検討してほしい。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。



【第2章 災害廃棄物処理 仮置場】

御意見	本市の考え方
<p>○ P 5 1 一次仮置場 一次仮置場の開設目標が2週間以内とあるが、2週間も余裕はない。初動対応で後手に回ると、生活ごみの収集・運搬にも支障がでる懸念があることから、発災後、最短での開設ができるように備えるべきである。</p>	<p>御意見に関しては、仮置場候補地の調整を行う際に、参考にさせていただきます。</p>
<p>大地震により被災した場合、小学校防災拠点への避難よりも在宅被災者になる可能性が高いと考えております。大震災時は下水管が遮断されていることが考えられ、トイレパック等の使用、使用済みトイレパックごみが大量に発生することが予想されます。 素案を拝見しますと、使用済みトイレパックは通常的生活ごみに分別するとなっておりますが、通常のごみ回収が困難な場合、自宅のベランダ等に他のごみとともにある程度の期間保管することが必要です。 しかし、多くの様々な住民が同様な問題を抱えるため、ごみ回収が回復してもしなくても、決められたごみ集積所には、膨大な量のごみ堆積が予想されます。 我々も災害時ごみの一時的集積所の設置を考えてますが、実際にはかなり難しく、要するに、平時に行われていた定期的なごみ回収の1日も早い回復を強く要望致します。 又、自治会町内会による災害用ごみ集積所設置への財政的援助の可能性も検討していただくようお願い致します。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>「災害ごみ」を処理するために、空地、未利用地の選定は、災害が起きる前に危機意識を住民に認識してもらうよう働きかけてゆかなければならないと思います。</p>	<p>御意見に関しては、平時から周知に取り組んでいくうえで、参考にさせていただきます。</p>
<p>一次仮置場について、各区に何か所必要か数字で出すこと。</p>	<p>御意見に関しては、P 52「仮置場の面積」に盛り込んでいます。</p>
<p>最大の難問は災害廃棄物の処理と思いますが、充分なる仮置場の確保です。災害とは想定以上を意味します。必要以上の広場の確保をすべきです。</p>	<p>御意見に関しては、P 93「仮置場候補地の選定」に盛り込んでいます。</p>
<p>4)質問 一次仮置き場の必要面積の割り出しはどのように算出されていますか？</p>	<p>ご質問に関しては、P 51「仮置場の面積」に記載しています。 (仮置場の必要面積は、災害廃棄物発生量を基に、搬入量、搬出量、積み上げ高さ、作業スペースを考慮して算出)。</p>
<p>災害時の「片付けごみ」と「災害がれき」は資料のとおりであるが、各市区と各自治会で災害が起こる前から空き地等の排出場所を決めておくように指導していただきたい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

<p>片付けごみの排出場所の選定決定をするのは誰？</p>	<p>片付けごみの排出場所については、近隣の空地や道路交通の妨げにならない場所を市民の皆様を選定いただきます。今後、地域防災拠点の訓練等の機会を通じて、具体的な排出場所について環境を整えていきたいと考えています。</p>
<p>仮置場がどこにあるのかどこにするのか。災害にあう前から情報として把握しておきたいです。平時のごみ集積場所とのことですが、絶対に無理なことだと思います。また近隣の空き地等あるのでしょうか。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>今回の西日本豪雨による災害でも多く発生した災害がれきの問題で、がれきの一次保管場所の確保を早急に計画される事を望みます。</p>	<p>御意見に関しては、「仮置場候補地の選定」の参考にさせていただきます。</p>
<p>一次仮置場まで災害がれき等を運搬する手段の支援も計画してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>○地震災害対策用地（仮称）の公開提案      深谷通信所跡地利用計画案では、災害廃棄物置き場や仮設住宅が計画されています。本計画において、「災害廃棄物仮置場を選定する～」とありますが、深谷通信所跡地利用計画の様に、廃棄物置き場などをなるべく事前に公開すべきと考えます。廃棄物の計画なので、廃棄物の事が中心になるのは仕方がないですが、「仮設住宅はどこに作るのかとの関連で決めていく」などの説明が少なく感じます。地震災害時対策用地（仮称）の名目で、物資集積地、災害廃棄物置き場、仮設予定地などフレキシブルに使用できる用地として、公園など指定、公表してはいかがか？      ①大規模公園、米軍施設跡地、学校のグラウンド      ・現状では、まず考えられるのは大規模な公園です。三ツ沢公園、岸根公園、金井公園などです。      ・米軍施設などでは、根岸住居地、上瀬谷通信施設跡地です。      ・大学グラウンドでは、戸塚区明治学院大学などです。      ②大規模空き地や耕作放棄地の緊急使用（借用）協定の締結      市内には、工場が除去した後、更地状態の空き地がいくつかあります。これらと、大災害時に、一時的に借用する協定を結ぶ。条例が必要と考えます。半年とか1年とかでも構わない。      ・例として栄区の金井公園隣地の住友の工場跡地です。      ・耕作放棄地はあるかわかりません。      ・その他では、道路予定地です。大震災が起きれば、道路を新設する余裕はなくなります。道路予定地を廃棄物仮置場にする。      ・遊水池を冬場は暫定的に仮置きできる様にする。      冬に遊水池に越流するほどの豪雨は少ないと考えます。ケースバイケースで（条例、法令の変更が必要かもしれません）</p>	<p>御意見に関しては、「仮置場候補地の選定」の参考にさせていただきます。</p>

<p>35 ページ意見 近隣の空き地等          用地の把握が発災後に始まりますが、地域によっては、できれば平時に事前をやっておいた方が良くと考えます。不燃化対策地域です。          不燃化地域においては、公園は（街区公園以上の広い公園）はすべて仮置場になるのではないのでしょうか？          早く具体的に公開、周知した方が良くと考えます。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>市街地だと集積場所スペースを確保できない。</p>	<p>御意見に関して、P51～「仮置場」に盛り込んでいます。</p>
<p>仮置場設置の際は、地域への説明や周知をしてほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>仮置場の面積が全体で表示されているが詳細が分からない。</p>	<p>御意見に関しては、P51「仮置場の面積」に盛り込んでいます。</p>
<p>集積所の設置場所については、地域防災拠点の運営委員会の場で協議する必要がある。</p>	<p>御意見に関しては、「仮置場候補地の選定」の参考にさせていただきます。</p>
<p>災害廃棄物の仮置き場については、候補地を選定しておくことが必要である。また、候補地の選定にあたり、意見を述べる機会を設けて欲しい。</p>	<p>御意見に関しては、「仮置場候補地の選定」の参考にさせていただきます。</p>
<p>一次仮置き場として広大な土地が必要である。例えば、深谷通信所の跡地のような広大な土地に大規模災害倉庫や一次仮置き場を整備すればよいのではないか。</p>	<p>御意見に関しては、「仮置場候補地の選定」の参考にさせていただきます。</p>
<p>移動手段の確保も同様です。交通渋滞も難敵です。</p>	<p>御意見に関しては、P40～の「各災害廃棄物への対応」に盛り込んでいます。</p>
<p>地震や台風、大雨など災害の種類によって被害は大きく異なる。災害の種類に応じて、仮置き場を考える必要がある。</p>	<p>御意見に関しては、P79～「洪水等による災害廃棄物の影響と対応」に盛り込んでいます。</p>
<p>適切な分別、仮置き場の管理（リサイクルに向き不向き判断等）をするために廃棄物処理業者が早い段階で動けるような体制作りをしてほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>仮置き場の配置例を確認したが、危険物の配置等仮置き場内の配置についてはもう少し考えるべきでは。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>どこの仮置き場に向かえばよいのか、どこが空いているか事前にアプリを作る等速やかな情報提供をしてほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

市設置の仮置き場だけではなく、民間の処理業者の敷地にも仮置き場として搬入できるような計画への記載、体制作りも考えてほしい。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
---	------------------------

## 【第2章 災害廃棄物処理 その他】

御意見	本市の考え方
災害ごみはまとめて、「バイオマス方式」により「発電・発ガス」に変換する方法を考える時ではないか？今はお金がかかるかもしれないが、長いスパンで考えることが大切。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
○ P 5 7～ 事業者から排出される災害廃棄物処理の考え方 この部分の記載は、平成 23 年の東日本大震災時の特例措置のことを指しているものと推察されるが、平成 27 年に災害対策基本法が改正され、第 86 条の 5 で、廃棄物処理の特例について規定されていることから、過去の対応事例を引き合いに出すのではなく、法の枠組みをベースとした対応を記載すべきである。 また、事業活動に伴う廃棄物の処理は、事業者の責任が原則であることをしっかりと平時から意識付けていくことが必要である。 そのうえで、事業活動に伴う廃棄物のみならず、法に規定される特例措置の対応を、しっかりと位置付けるべきと考える。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
この度の豪雨被害を教訓にしていきたい。 (自宅が 2014.10 の豪雨で床下浸水にあったが、役所の対応がなかった。)	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
豪雨に対する災害に関してはそうなる前に河川の整備を十分に検討してほしい。	いただいた意見に関しましては、河川事業を所掌する道路局と情報共有させていただきます。
地域の防災を考えた時、鶴見川河川敷（鴨池大橋上下流付近）には自然発芽した大木が木立化しています。異常豪雨が続いた場合、水流が妨げられ、氾濫～堤防決壊～大水害が予測されますので、行政（市・県）が連携の上、この木立を除去し防災対策を進めてほしいです。	御意見に関しては、当該場所を管理する横浜川崎治水事務所と情報共有させていただきます。
○栄工場、保土ヶ谷工場はなぜ使わないのか？ 栄、保土ヶ谷工場が使えるのなら最初から使えば良いと思います、やらない理由がわかりません。 やらない理由は、例えばダイオキシンが出てしまうとかです。どのみち大規模地震、災害が起きればダイオキシンが多く発生しますから、誤差範囲ではないかと考えます。栄や保土ヶ谷工場を稼働するにはコストがかかるということでしょうか？早く廃棄物を処理した方が、市、県全体、「市民、事業者、市」全体でコスト減になると考えます。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
○廃棄物のリサイクルはできないのでしょうか？ 質量で多いのは鉄筋コンクリート、アスファルトです。これをどの程度リサイクルするのでしょうか。	ご質問に関しては、P 66～「最終処分場の延命化の取り組み」に盛り込んでいます。

被災状況等によりごみ収集がスムーズに行われない時、集積場所が満杯になり、分別ができなくなり、混乱した場合の対処方法はどこから指示がでるのか？	御意見に関しては、P85「情報発信・受信」に盛り込んでいます。
災害廃棄物の片付けごみの排出場所が決まれば、各区ごとに地域に情報提供してほしい。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
横浜市の高齢化（2025年、65歳以上、28.4%）を考えると、今後災害弱者に対する支援作業が大きくなるのが想定されます。「横浜ふれあい収集」対象者に加え、支えあいカード提出者、高齢者だけの世帯に対する災害廃棄物の持ち出しなど支援のため、区役所への支援要請手順、ボランティアなどの派遣など、高齢化を想定した体制作りが必要と思います。	御意見に関しては、P84「福祉的支援」に盛り込んでいます。
大規模災害廃棄物の処理については想像を絶しますが、焼却工場ではとてもとても対応できないと思います。災害を受けなかった他県行政に災害廃棄物処理をゆだねて、港から船搬で移送するラインの選択を参考にしてください。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。

### 【第3章 平時からの取り組み】

御意見	本市の考え方
○ P94 PDCAサイクルに基づき、継続的な改善と見直しを行うとあるが、具体的にはどのような仕組みとしていくのかが記載されていない。現存するマニュアルの再確認や、不足するマニュアルの整備、定期的な訓練等を踏まえるものとなると考えられるが、基本的な計画期間を定め、その期間内に具体的にやるべき事を計画で位置付けておく必要があるのではないか。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
災害廃棄物処理計画については地域防災拠点としてこれから話し合っ進める段階です。横浜市の素案に基づき、今後取り組む課題になります。	今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。
日々の生活ごみの分別について、「災害時にも必要」とする旨もっとPRしておいた方がよい。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
行政中心にもっと身近な自治会や社協に協力してもらおうような体制と訓練が必要だと思う。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。
誰でも大規模な災害にはあいたく無いものだが、もうそろそろありそうだなという風潮の世の中です。 市民一人ひとりがこの計画を真剣に取り組み、行動できるよううまい仕掛けをつくり、上手に伝達していただけるように期待します。 片付けごみというごみの分類法はなるほどなど関心しました。	今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。
日常のごみ出し分別ルールが身につけていることが大切。誰もが大変な時。腐敗物との区別が守れると少しは快適な空間・気持ちが生まれると思う。職員も被災者、日頃から地域でできることを取り組んでおいた方がよいと思う。	御意見に関しては、参考にさせていただきます。

<p>良く出来ている計画だと思う。市民が周知するような PR を期待します。</p>	<p>今後も、災害廃棄物処理に対応できるよう努めてまいります。</p>
<p>災害時の地域ラジオ（FMSalus、FM 横浜など）への情報伝達部局、体制などは十分整備されていますか？（どういうルートで伝達されるという日頃の広報も大切だと思います。）</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>災害が起きてからでは遅く、又災害はどこで起きても不思議ではない状況です。早急に住民意識を持ってもらいたいと思います。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>地域防災拠点の集積場所については、拠点である小学校や中学校に事前に設定させること。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>今回の西日本災害時のテレビ映像をみると、一次仮置場に家電類、災害がれき、土嚢などが分別されず、積上げられて、復興の妨げになっているように感じられます。災害ごみは家電類、燃やすごみ、燃えないごみ等大まかにでも分別して出すよう、平時より周知徹底するようにすべきと思いました。</p>	<p>御意見に関しては、P93「市民への広報及び情報発信」に盛り込んでいます。</p>
<p>し尿は命に関わる問題だと思う。日頃から住民に簡易トイレの使い方、平常時各家庭に配布して、非常時に皆が使用できるように、準備しておく必要があると思う。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>いつおこるかわからない災害に普段から地区ごとに話し合い、高齢者が多くなっているため、どう行動してよいのかを話し合い、ごみの出し方をこまかく話し合い、決めておくと良いと思う。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>1) 一人ひとりの災害時ごみへの関心協力の必要性をアピール  7. 災害時の対応に際し特に重要な事項として自助共助の推進がうたわれています。  排出されるごみの内訳をみても、家庭から排出されるものが多く縮めています。その意味でも市民一人ひとりがどのように災害時に排出するごみに対して関心を持つことが必要です。発災時におけるルールに基づいた行動が必要とありますが、これについて市が広報・啓発することも重要ですが、自助共助という視点での項目が必要です。事業所から出されるごみに対しての項目とは別に市民が行うべき項目も記載下さい。  市民は在宅被災生活者、避難所生活者など立場の違いも必要です。地域防災拠点でのごみ対策についてのマニュアル記載も必要です。地域の防災（自治会・町内会）でのごみ対策も必要です。</p>	<p>御意見に関しては、P93「市民への広報及び情報発信」に盛り込んでいます。</p>
<p>資源循環局との連携対応の明確化  地域防災拠点全部に資源循環局（各区事務所）からの訓練時での配員参加はないかと思われまます。  必要に応じて順次 訓練時に巡回参加を記載</p>	<p>御意見に関しては、P89「多様な防災訓練・研修の実施」に盛り込まれています。</p>
<p>①生活ごみ・避難所ごみは 各自治会で実施されるイベント時の ごみ収集手法が使えます。各自治会で  イベント（まつり・体育祭等）ごとに訓練していきたい。  生ごみの分類・収集が生活環境の確保に欠かさないようです。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

<p>②災害時に発生する ○片付けごみ ○災害がれき については 平時からどうするか検討しておく必要が有りそうです。</p> <p>こちらも事前に分別しておくことで処理費用が削減されそうで、燃やすごみ（木片・畳・木製機器等）・金属ごみ・家電・がれき 等の分類方法・集積場所設置の予定場所確保 を災害初期からして 検討しておく必要が有りそう。については分類・設置場所標準を 各自治会に 標準化して 検討・提示してほしい。</p> <p>設置・分類指導に 環境事業推進委員が 中心に当たれば良いと思います。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>③し尿の処理： 当自治会ではイベントごとに簡易トイレを設置して訓練していますが、少量ですが廃棄物の処理の方法が定まっていないので 燃やすごみとして処理していますが、平時でも基準が有るといいのですが。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>「生活ごみ・避難所ごみ」は災害時でも普段通り排出することを通常から徹底する簡単な文書を出してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>災害時のボランティア要請ではなく、普段から学生たちと地域の人たちのコミュニケーションを大切にすべきだと思う。声掛け運動推進を大いにするべし。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>1 分別目的の明記と市民周知の徹底 今回の西日本の水害では分別はほとんどされていません。災害時の分別というのは、市民が考える目的と行政が考える目的（意味合い）が異なることから、災害時であっても分別を行わなければならないという目的を明記し、しっかりと浸透させる必要があると思います。</p> <p>それぞれが考える分別行動の目的は次のようになると思います。</p> <p>○市民が考える分別行動の目的：環境にやさしい行動（普段のごみ分別と同じ目的）→災害時にそんなことは言ってもらえないという感情になっている。</p> <p>◇行政が考える分別行動の目的：周辺の衛生環境を保ちつつ、効率よく廃棄物処理を進めるための行動</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>2 水害時の災害廃棄物の扱い 今回の西日本の水害後の被災者の行動を見ると、まず、家に流れ込んでいる土砂や泥を取り除くために、まずは土砂の中にある家財をすべて屋外、敷地外に出し、すべて廃棄という行動となっています。つまり、水害の場合は土砂が堆積しているために、いわゆる片付けごみを市民が一時保管できるほどの空間の確保はできません。</p> <p>そこで、水害時への対応として、ハザードマップの浸水しない場所において仮置き場を早急に想定しておく必要があります。ちなみに岡山県矢掛町では翌日に仮置き場の場所をHPで指定していました。（持ち込めるものについては、後日出ており、仮置き場だけの設定では混乱していると思います。）</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>3 市民・事業者の搬出方法が分かるものを作成してもらいたい。今回の計画は、「災害廃棄物をどのように処理するか」という計画ですが、一方で、市民・事業者などが災害廃棄物をどう排出するかによって、処理しなければならない量も大きく変わってきます。</p> <p>そこで、市民・事業者向けに「災害時における災害廃棄物や普段の生活ごみの排出方法」を周知するための冊子等を作成し、それだけを市民・事業者へ周知することを検討してもらいたい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>

<p>「災害廃棄物の処理」の取り組み、行動ができる様に、伝達していただきたいと思 います。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>地域防災拠点に保管している組み立て仮設トイレの設置は煩雑であり、だれでも組 み立てられる仮設トイレを検討してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>○リデュースに力を 廃棄物計画を作成する事自体はとてもいいです。廃棄物が出ないようにするリデュ ースに、力を入れた方が合理的です。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>大地震が発生するたび、その後の町の様子で、道路脇などしてたくさん積まれた廃 棄物が映し出され、大変だなあ。と思います。 災害の規模により発生する量も違いますので、簡単ではありませんが、やはり日頃 から「災害時の廃棄物の排出方法」について、しっかり広報していくことが大切だ と思います。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>家具の転倒防止や棚扉の固定など、なるべく廃棄物が発生しないようにする取組に についても、あわせて知らせていった方がよいのではないのでしょうか。日常的にでき る取組が、いざというときに効果がある。ということをはっきり伝えていただきた いです。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>○収集車の災害時の燃料確保について、備蓄については種々の問題があるかと思 うので、ガソリンスタンドとの契約を考えたら（優先的に契約してもらえる契約）</p>	<p>横浜市では災害時にお ける燃料供給に関する 協定をを締結してお り、災害時には必要な 要請を行います。</p>
<p>「し尿」の処理が一番問題になると思う。 日常的に地域と連携して具体的なPRを実施することを強調してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>災害時の収集車両の給油について、消防は自ら備蓄があるようだが、資源循環局は 大丈夫なのか？</p>	<p>横浜市では災害時にお ける燃料供給に関する 協定をを締結してお り、災害時には必要な 要請を行います。</p>
<p>トイレの事前準備が大切。マンホールトイレの配備を要望する。</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>災害が大きいと、復旧が大変。防災拠点個々に地元でどのようにするか考えるべき</p>	<p>御意見に関しては、参 考にさせていただきます す。</p>
<p>トイレパックについても、より啓発に努める必要がある。</p>	<p>御意見に関しては、 P90「地域防災拠点訓 練への参加」に盛り込 んでいます。</p>



<p>災害用ハマッコトイレの設置についてPRが不足しているので、しっかり広報すべきである。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>ごみが堆積される箇所で、臭いがあります。生ごみが分別されずに、廃棄物と一緒に投棄され、時間が経って、悪臭が発生して困るといった災害経験者の声を聞きました。 腐敗するような生ごみについて、指示を明示してください</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>「片付けごみ」と「災害がれき」の分別の種類はどのようなものか見本を示していただきたい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>現在の分別収集にしても関心を持たない人がいるのが現実で、地球環境を守るためにも、使い捨て製品を少なくしてゆかなければいけないです。これ以上ペットボトル製品、プラスチック製品は規制する段階に来ているのではないかと思います。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>
<p>西日本豪雨の「片付けごみ」と「災害がれき」の排出場所の実例をいくつか見本として紹介してほしい。</p>	<p>御意見に関しては、参考にさせていただきます。</p>